

蔵王山麓の縄文ムラ

—谷地遺跡の発掘調査から—

講師 蔵王町教育委員会 鈴木 雅

蔵王連峰東麓の蔵王町を流れる松川河畔にある谷地遺跡は、今から約5,500年前に営まれた縄文時代中期の集落跡です。消防庁舎建設に伴う2011-2012年の発掘調査では、住居跡や貯蔵穴など様々な生活痕跡とともに、縄文土器や石器、土偶などが多量に出土し、当時の蔵王東麓地域でも有数の大規模な拠点集落であったことが判明しました。谷地遺跡の調査で分かった当時の集落の様相や、環蔵王地域に特有の出土品が示す地域性、遠隔地を含めた地域間交流の様子について学び、南東北の蔵王山麓周辺の縄文時代中期の社会について考えます。



日時 令和5年
3月19日(日)
13:30~16:00 (13:00開場)

会場 蔵王町ふるさと文化会館
ございんホール
蔵王町大字円田字西浦5番地 ☎0224-33-2018



定員 200名 (申し込み不要 先着順)

主催 蔵王町教育委員会 ☎0224-33-2018

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場内ではマスクの着用をお願いします。*入館時に自動的に体温を測定します。基準値を超える体温の方は入場をお断りします。*体調不良の方は来場をお控えください。*感染拡大の状況により、中止や予定を変更する場合がありますので予めご了承ください。*中止・変更については決まり次第、右記ホームページで告知します。



ございんホール
ホームページ

蔵王町の歴史と文化財
どきたんドットコム